

## グローバルヘルス政策人材養成講座

(実施期間：平成 22～26 年度)

実施機関：東京大学（総括責任者：五神 真）

### プロジェクトの概要

地球規模の保健課題は、政治・外交・経済・貿易・ビジネスにおけるイノベーションの最前線であり、その対応には、分野横断的な発想でイノベーションを保健政策に応用できる国際的人材が不可欠である。本プログラムでは、技術革新だけでなく、施策や制度の変革のためのビジョン・思考やマネジメントもイノベーションとして位置付け、包括的なイノベーションのための画期的なプログラムを提供する。

具体的には、グローバルヘルスを切り口に、東京大学の既存のリソースを活用しながら相乗効果を図るために、国際保健学専攻と医学部「最先端研究開発支援プログラム」及び学部横断的「政策ビジョン研究センター」と連携し、学内に「グローバルヘルス政策センター」を設置する。「グローバルヘルス政策人材養成講座」を通して、イノベーションの創出やその活用につながる政策立案や研究能力を持つ人材、多国間協調の枠組みの中でグローバルヘルス課題の解決に求められるイノベーションの活用の中核を担う実務家、イノベーションへの知見と実践力を持ち後進を育成する教育人材を育成する。こうした活動を通して、各専門分野に加えて社会・政治的側面を理解する知識・見識を兼ね備え、かつ国際的な広い視野に立った決断・行動力を持ち、リサーチマインドとアントレプレナーシップ・リーダーシップに富んだイノベーション政策革新人材の輩出を目指す。

### (1) 評価結果

総合評価	目標達成度	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
S	s	s	s	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

### (2) 評価コメント

グローバルヘルス政策人材養成講座という日本に今までにない教育拠点を作り、グローバル社会で活躍するリーダー養成に軸を置いた実践プログラムを構築し成果をあげた点は高く評価できる。世界一流の講師陣による全プログラム英語の講義やセミナーで構築された実践プログラムは、博士人材にとって非常に魅力ある内容であり、養成対象者だけでなく、広く学内外の学生、研究者、また、企業人の聴講があった。グローバルリーダー養成という視点から国際的な機関、研究所等の長期インターンシップ先を開拓し、多数の応募者があり当初の養成目標者数を達成したこと、また、養成修了者の多くが国際的な機関、産業界に就職した点も高く評価できる。今後、本

事業の更なる全学展開に向けた粘り強い努力、公的資金に頼らないシステム構築、世界に誇れるプログラムとしての発展、ブランディングを期待する。

・**目標達成度**：本プログラムが医学系にとどまらず全学的なプログラムへと事業を展開し、グローバルリーダー養成事業としての魅力のある実践プログラムを構築した結果、多数の応募者があり、養成目標者数を超えて養成した点は高く評価できる。また、学外からも多くの養成対象者を受け入れている点も評価できる。長期インターンシップ受け入れ機関も海外の国際機関を中心に実施し、修了者の多くを国際機関に輩出している点も高く評価できる。

・**イノベーション人材養成システム改革状況**：グローバルヘルス政策人材養成講座という日本に今までにない教育拠点を作り、インターン派遣が至難である海外の国際機関を受け入れ先として開拓し、プログラム内容も当初のグローバルヘルスリーダー養成から、より広くグローバルリーダーシップ養成へと内容を充実させ、イノベーション創出のためのマインドセットとして国内外から一流の講師陣を招聘し、魅力あるプログラムとして全学展開した点は高く評価できる。企業派遣聴講生制度は、本事業終了後のシステムの継続にも資するところであるとともに、この新しい教育拠点の存在感を高めるためにも有効と考える。

・**実践プログラムの開発・運用状況**：英語、リーダーシップ等、重要な項目について、実践的かつグローバル水準のプログラムを開発し、国際機関、国内外企業等の多様なインターンシップ先を開拓した。選抜時からインターンシップ派遣までの期間に英語コミュニケーション能力だけでなく、個別指導(メンタリング)で丁寧なフォローをし、国際人材育成に多大の効果を発揮したことは高く評価できる。派遣先は19ヶ国、52機関と、地球規模の保健課題に取り組み、政治・外交・経済・貿易・ビジネスにおけるイノベーションを生み出せる人材を育成するという事業目標を十分に達成している。国際組織への就職につながったことも評価できる。

・**実施体制**：適切な初期設計と着実な実行体制の下に、事務局スタッフに優秀な人材を揃え、多様な外部識者との連携により、高い教育効果を備えた取組であったことは高く評価できる。産業界、海外とも連携し、全学を挙げて推進しており、特に多くの研究科、国際機関との連携等は高く評価できる。アドバイザーボード等のメンバーも一流で、本事業の推進に貢献した。

・**今後の進め方**：「グローバルヘルス・アントレプレナーシッププログラム」の一部門として、プログラム終了後の継続実施体制が構築された点は評価できる。今後、大学として継続、発展についての方針をさらに明確にし、大学の教育プログラムにアントレプレナーシップを反映させる仕組みを作り、本事業の優れた効果の継続を期待する。また、自主経費の充実、企業派遣受講生等の有償受け入れシステムの確立により自律的運営の基盤が作られること、本事業で培った世界的な機関、グローバル企業で活躍する人材育成プラットフォームを国内他大学と共有することを期待する。